

令和元年5月16日

都内私立中学高等学校

校長

理科担当教諭

理科クラブ顧問

関係教職員

殿

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会

会長 近藤 彰郎

東京私学教育研究所長 須藤 勉

理数系教科研究会委員長 鈴木 弘

(共催：公益財団法人東京都私学財団)

## 理数系教科研究会（理科・生物）「宿泊研修会」のご案内 八丈島を訪ねて ～亜熱帯の自然と探究教育の現場～

余花の候 皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当研究会では、亜熱帯区の八丈島の自然に目一杯触れることができる宿泊研修会を企画いたしました。

八丈島は八丈富士と三原山という二つの山を有し、縄文の昔から息づく雄大な自然がみられます。

今回の研修では、第62回日本学生科学賞\*最終審査会(全国大会)において「日本科学未来館賞」を受賞した八丈町立富士中学校・自然科学部の顧問である川畑 喜照 先生にご協力を賜り、島内のフィールドワークを実施することとなりました。スダジイ、ハチジョウカグマやツワブキの葉が生い茂り、伊豆諸島ならではの鳥や昆虫が生息する森をはじめとし、さまざまな興味深い観察ポイント〔写真参照〕を巡ります。

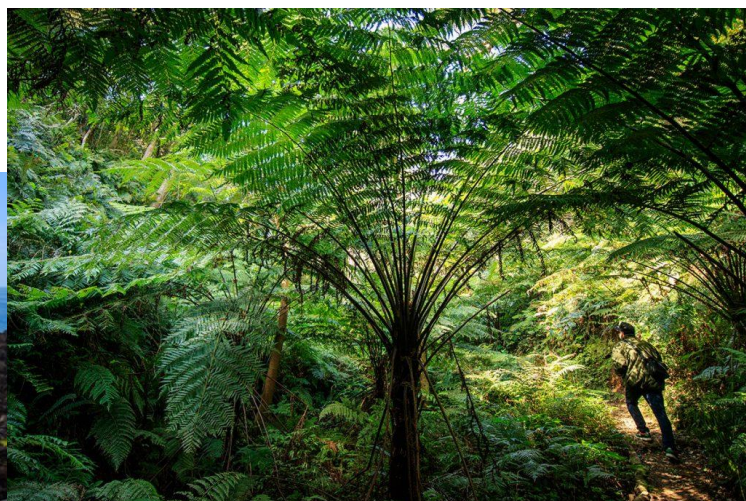
また、夜には《発光生物の観察会》も設け、川畑先生のご案内のもとヤコウタケやエナシラッシタケの観察などもおこないます。夜の山道散策では、日中とは異なる八丈島の自然に触れられることでしょう。

更にこの度は、富士中学校にも訪問し、実際に自然科学部の活動を見学させていただく機会も得ました。生物担当教諭や生物部・科学部の顧問だけでなく、探究教育や課題研究活動に関わっている先生方にとって、探究教育現場の先端を探り、知見を広げることができる非常に貴重な経験になるかと存じます。

大変ご繁多の折とは存じますが、是非お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

\*日本学生科学賞は日本で最も伝統と権威ある、中学生と高校生を対象とした科学自由研究コンテスト。「科学の甲子園」とも呼ばれる。

激しい黒潮の潮流が創り出した岩場が多く、ダイナミックな景観をもつ海。【潮だまり】では、伊豆諸島ならではの生物が観察できます。



現地ガイドの案内により、通常は足を踏み入れることが出来ない【ヘゴ群生地】にも訪れます。



## 記

- 日時 令和元年8月26日(月)～28日(水) 2泊3日  
**集合時間** 8月26日(月) 11:00(時間厳守)  
**集合場所** 羽田空港第2ターミナル 出発ロビー
- 研修内容 右面 < **研修プログラム概要(予定)** > 参照
- 募集人員 20名(定員になり次第締め切ります)
- 服装・持参品 **トレッキングの服装、雨具、合羽(上下)、リュック、日焼け止め、常備薬(酔い止め)、帽子、軍手、観察道具、虫よけスプレー、保険証 他適宜**
- 講師・案内 **■ 川畑 喜照 先生 (八丈町立富士中学校教諭)**  
八丈島へ赴任後、その自然の素晴らしさに魅せられ、ラン科植物、シダ植物、昆虫の甲虫目、直翅目、発光生物、菌類など夢中になるものを変えながら調査を続け、現在に至る。生徒と共に研究活動を行いながら八丈島の自然の素晴らしさを広く伝えている。第62回日本学生科学賞 最終審査会(全国大会)にて、顧問を務める八丈町立富士中学校・自然科学部の研究『ヤブニッケイもち病菌の研究Ⅲ』が「日本科学未来館賞」を受賞。自身も長年にわたって生徒への研究指導に尽力してきたことが高く評価され、2016年「指導職員賞」を受賞。  
**■ 菊池 健 氏 (八丈ビジターセンター職員)** ほか
- 宿泊先 **ペンション大吉丸 8月26日(月)・27日(火) 2泊**  
〒100-1401 東京都八丈町大賀郷 2634-2  
Tel: 04996-2-5855  
<http://www.daikichimaru.com/pension.html>
- 運営委員 芳賀 知和子(日本工業大学駒場中学高等学校)
- 参加費用 **60,000円**

(参加費には往復団体航空運賃、宿泊費、朝・昼・夕食費、旅行傷害保険料、航空機欠航・着陸地変更費用保険料、諸雑費などを含みます。その他の経費は当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しています)

## < 研修プログラム概要（予定） >

※諸般の事情で変更もありますことをご了承ください

### 【 1日目 】 8月26日（月）

集合 11:00 羽田空港第2ターミナル 出発ロビー

12:15 ANA1893 便 羽田空港発

13:10 八丈島空港着

（昼食）

14:40 **八丈ビジターセンター・八丈島植物公園**

ビジターセンター職員によるご案内

**潮だまり観察**

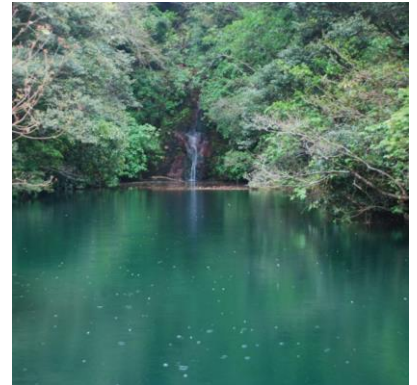
17:00 宿舎 着

（夕食）

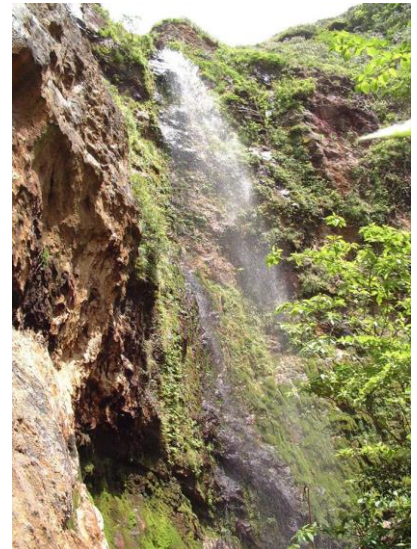
**《講演》 八丈の自然について**



硫黄成分が混ざり、深いエメラルド色の水を湛えた【硫黄沼】



三原山の中腹にあり、コケが美しく生える【唐滝】



### 【 2日目 】 8月27日（火）

（朝食）

午前 **ヘゴ群生地コース散策**

（昼食）

午後 **硫黄沼・唐滝コース散策**

宿舎 着

（夕食）

**《夜の発光生物観察会》**

### 【 3日目 】 8月28日（水）

（朝食）

午前 **ポットホール観察**

（昼食）

13:00 **八丈町立富士中学校 訪問**

①自然科学部の活動（研究の様子、発表）見学

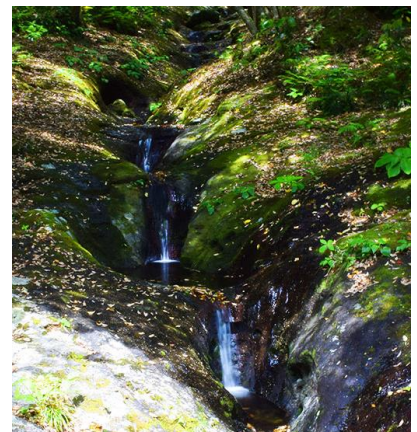
②川畑先生の講話

17:20 ANA1896 便 八丈島空港発

18:20 羽田空港着 解散

☆ 現地での移動は貸切バスとなります。

岩盤の小さなくぼみに偶然溜まった小石が水流で回転し、長い年月をかけて深くなった【ポットホール】



写真提供：一般社団法人八丈島観光協会